

大学院ニュースレター

久留米大学大学院医学研究科

第49号／2008年12月12日発行

編集／医学研究科長

『専門看護師教育課程』

看護学科 野村 志保子 教授

本学大学院医学研究科修士課程の臨床看護学群では、平成19年4月に専門看護師の育成を目標とした「がん看護専門看護師教育課程」を開設し、本年7月末に教育課程の認可を受けるために日本看護系大学協議会に申請しました。また、21年度より「感染症看護専門看護師教育課程」を創設し、学生募集をしております。さらに11月、本学大学病院に九州で2人目のがん看護専門看護師が誕生しました。そこで、ご理解を深めていただくために日本の専門看護師教育の現状について少し紹介させていただきます。

1952年、日本で初めて高知女子大学で大学における看護教育が始まりましたが、1991年までの40年間に開設された看護系大学は10校でした。しかし、1992年以降、毎年10校前後新設され、2009年4月には180校近くになる予定です。看護教育の大学化の流れを受けて、看護学専攻の大学院もこの10年で5倍以上になり、現在、修士課程は107、博士課程は47の大学院で開設されています。

専門看護師とは、特定の専門看護分野の高度な知識および実践力を身につけ、医療現場において実践・相談・調整・倫理調整・教育・研究の役割を果たすことにより、保健医療福祉や看護学の発展に貢献することが期待されています。専門看護師の資格を

取得するには、看護師、保健師および助産師のいずれかの免許を有し、大学院修士課程で専門看護分野の教育を受けること、また実務経験が5年以上、そのうち専門分野の経験が3年以上で大学院修了後に必ず1年以上専門分野の看護を実践することが必須となります。さらに、これらの要件を満たした後、日本看護協会認定審査に合格しなければなりません。

専門看護分野は、がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援の10分野です。専門看護師教育は1997年から開始されていますが、教育課程については日本看護系大学協議会の認可が必須で、現在、34の大学院が認可されています。複数の専門看護分野の教育課程を開設している大学院もありますが、九州・沖縄地区は、残念ながら琉球大学大学院のがん看護分野の一課程のみで、専門看護師登録者も少なく、僅か10名です。因みに、2008年12月1日現在の専門看護師登録者総数は304名で、一番多いのはがん看護で129名、21年度に本大学院に開設する感染症看護分野は1名だけです（資料：日本看護協会認定部）。現在、「九州がんプロフェッショナル養成協議会」の活動の一つとして、各大学でがん専門看護師教育課程開設に向けて準備をしていますが、他分野

の教育課程の開設も急務な課題になっており 期待しています。
ります。

専門看護師の方々は病院や地域で素晴らしい活動をしており、その活動状況はテレビでも放映され注目されています。医療チームの他職種からも欠かせない存在だと信頼され、熱い期待が寄せられています。これからの看護を担う若い方々が、社会のニーズに応える保健医療福祉の発展のために、専門看護師に挑戦して下さることを



ティールーム

大学院進学希望に関するアンケート調査の結果報告について

この程社団法人日本私立医科大学協会より「医学研究科大学院博士課程進学希望に関するアンケート調査」の調査依頼があり、本学でも医学部医学科6年学生及び初期臨床研修医を対象に調査を実施した。この調査は、医学研究科博士課程の在り方について検討するにあたり、入学を有する者が大学院についてどのような認識を持つか知ることを目的としたものである。

以下に調査結果報告をまとめるので、今後の大学院の発展のため、大学院教育の充実のために参考いただければ幸いである。

調査対象 医学部医学科6年学生
初期臨床研修医

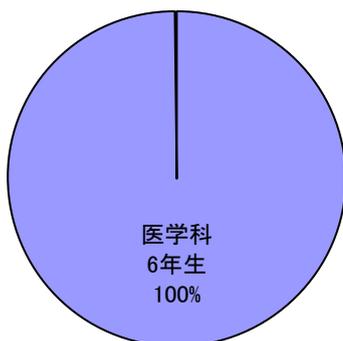
全体回収率 医学部医学科6年学生 88.3% ≪103名中、有効回答数：91名≫
初期臨床研修医 85.3% ≪116名中、有効回答数：99名≫

(うち、研修先が出身大学付属病院の者：67.8%、その他の者：29.3%)

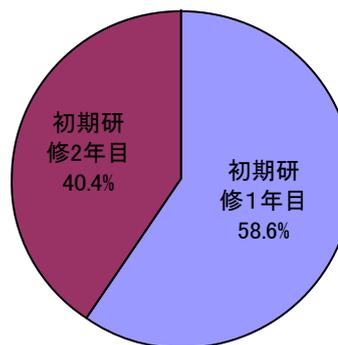
【質問事項及び回答】

(1) あなたは現在どれに相当しますか。

○医学部医学科6年生

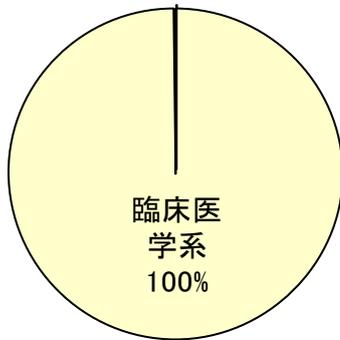


○初期臨床研修医

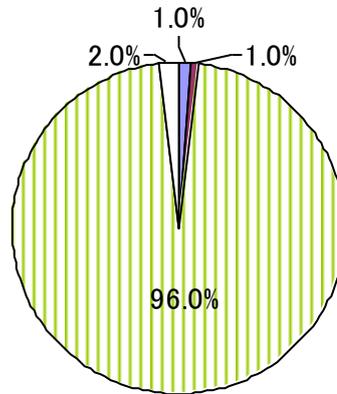


(2) 将来の進路として、どれを考えていますか。

○医学部医学科6年生



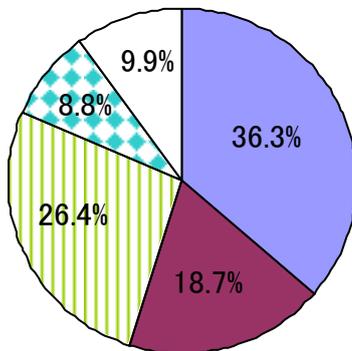
○初期臨床研修医



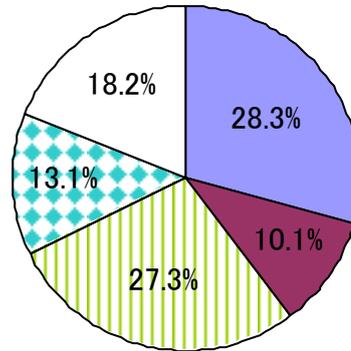
- 基礎医学系 ■ 社会医学系
- 臨床医学系 □ その他

「臨床医学系」を選んだ場合には、専門領域についても選んで下さい。

○医学部医学科6年生



○初期臨床研修医



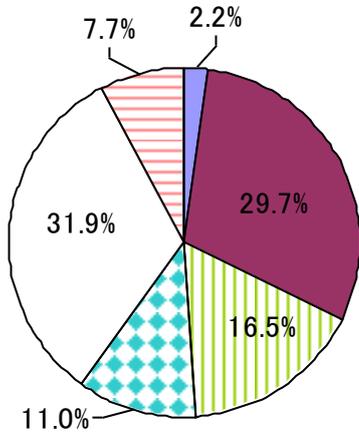
- 内科系
- 外科系
- どちらかといえば内科系志望だが未定
- どちらかといえば外科系志望だが未定
- 未定

- 内科系
- 外科系
- どちらかといえば内科系志望だが未定
- どちらかといえば外科系志望だが未定
- 未定



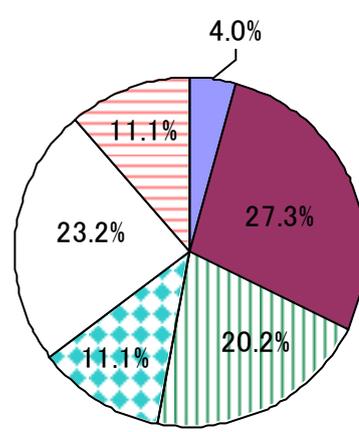
(3) 医学研究科博士課程への進学を考えていますか。

○医学部医学科6年生



- 進学する予定
- 進学したいが、未定
- 進学しない予定だが、未定
- 進学しない予定
- まったく未定
- 進学を考えたことがない

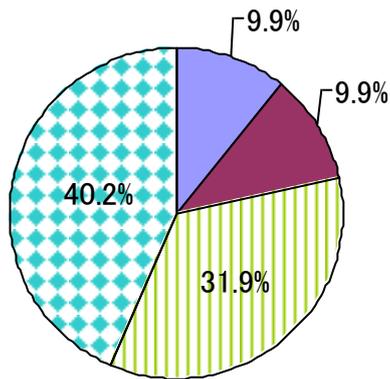
○初期臨床研修医



- 進学する予定
- 進学したいが、未定
- 進学しない予定だが、未定
- 進学しない予定
- まったく未定
- 進学を考えたことがない

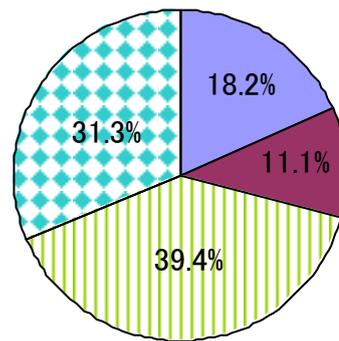
(4) 教員や先輩から、大学院について説明を受けたり、進学を勧められたりしたことはありますか。

○医学部医学科6年生



- 進学を勧められたことがある
- 話を聞いたことはあるが、進められなかった
- 話を聞いたことはある
- そういう話を聞く機会がこれまでになかった

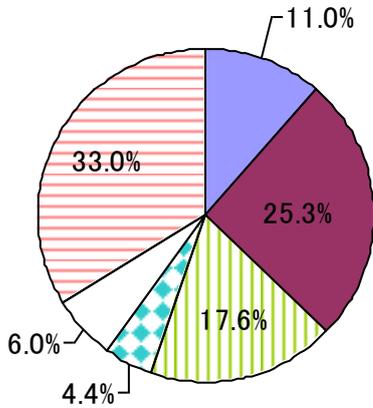
○初期臨床研修医



- 進学を勧められたことがある
- 話を聞いたことはあるが、進められなかった
- 話を聞いたことはある
- そういう話を聞く機会がこれまでになかった

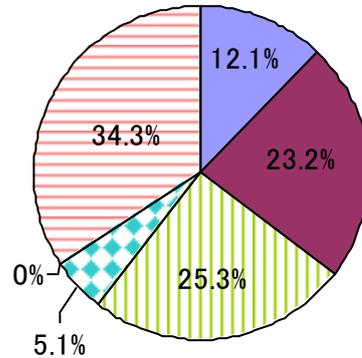
(5) 博士（医学）の学位取得について、どう受け止めているでしょうか。

○医学部医学科6年生



- 必要
- 必要かどうか不明だが、取得したい
- 必要かもしれないが、取得したいと思わない
- 不要と思うが、学位は取得したい
- 不要だし、取得したいと思わない
- わからない

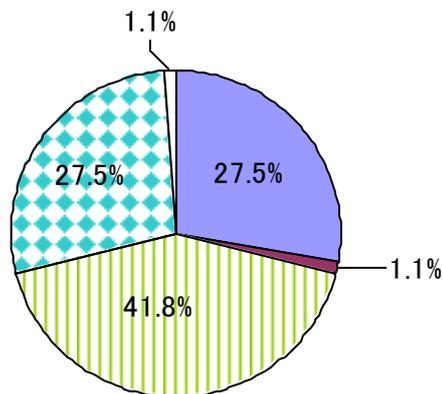
○初期臨床研修医



- 必要
- 必要かどうか不明だが、取得したい
- 必要かもしれないが、取得したいと思わない
- 不要と思うが、学位は取得したい
- 不要だし、取得したいと思わない
- わからない

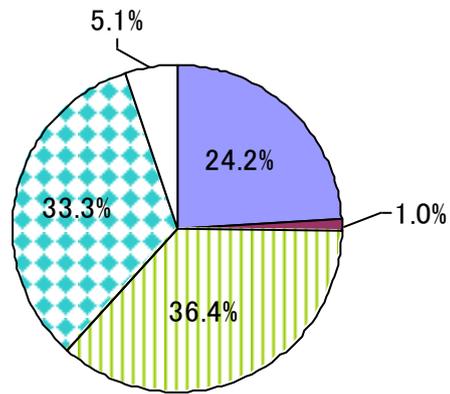
(6) 各臨床領域で、各学会による専門医の認定が行われています。博士（医学）との関係をどう受け止めていますか。

○医学部医学科6年生



- 専門医と学位の両方を取りたい
- 専門医資格はともかくとして、学位を取りたい
- 学位はいらないが、専門医は欲しい
- 関心はあるが、よくわからない
- どちらにも関心がない

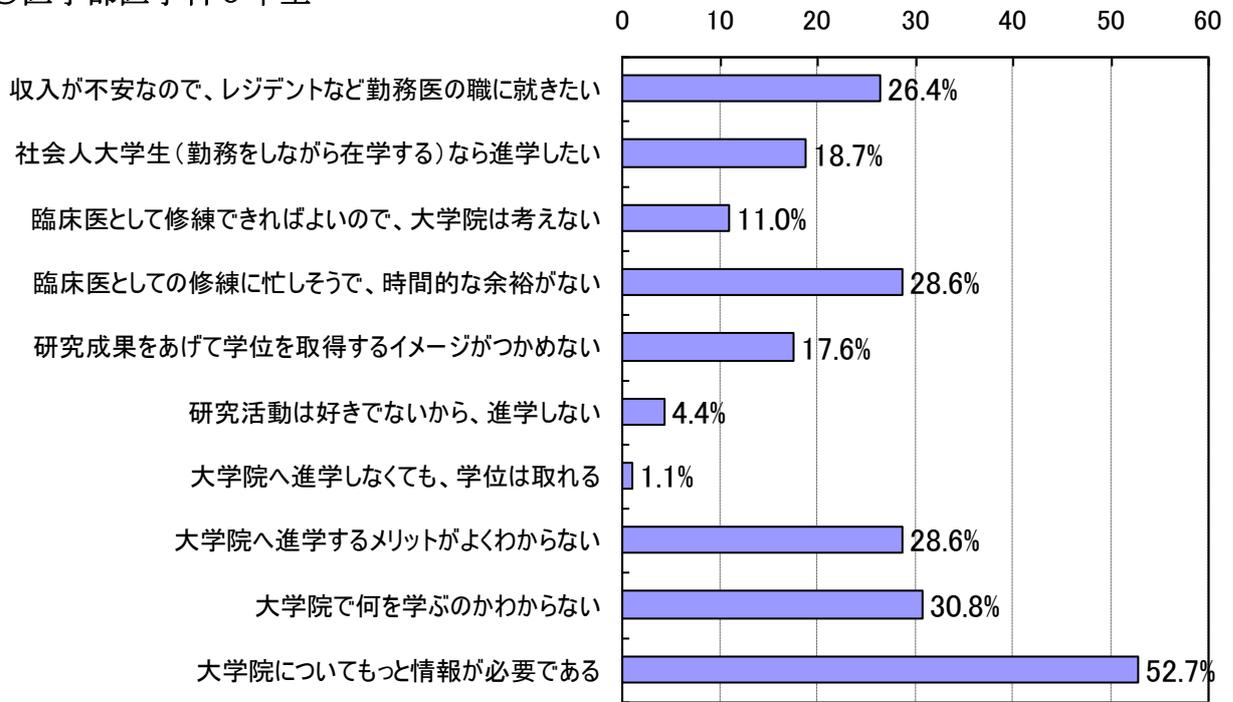
○初期臨床研修医



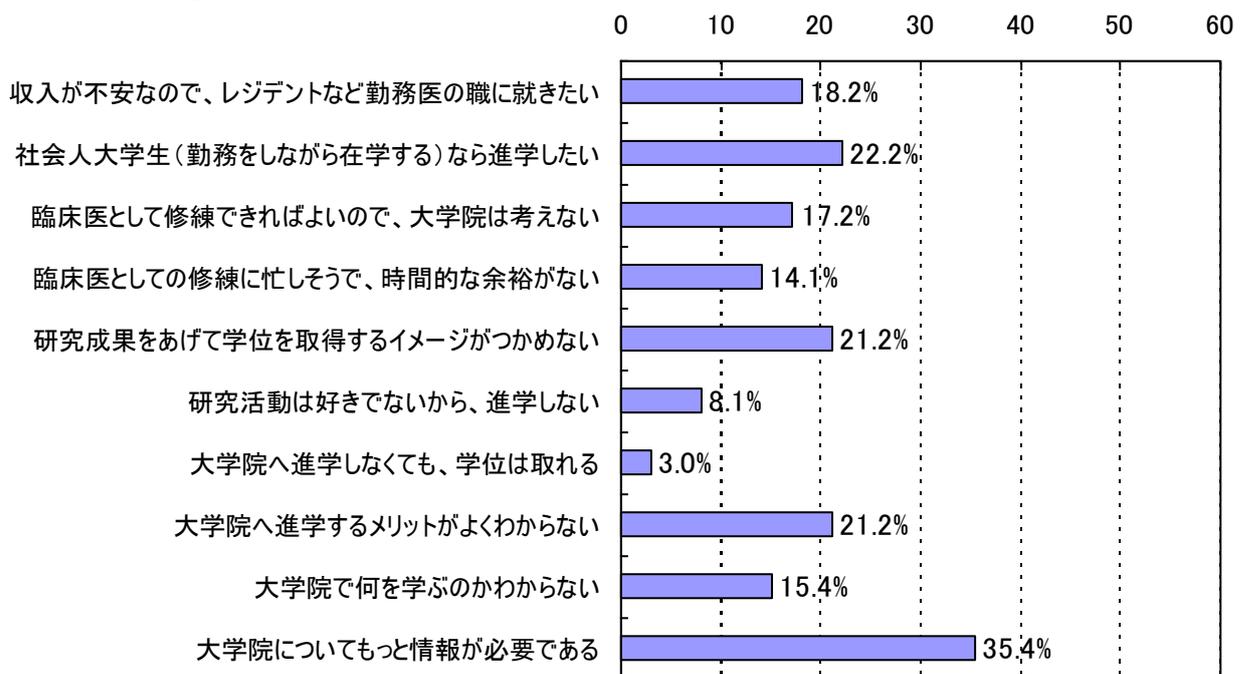
- 専門医と学位の両方を取りたい
- 専門医資格はともかくとして、学位を取りたい
- 学位はいらないが、専門医は欲しい
- 関心はあるが、よくわからない
- どちらにも関心がない

(7) 大学院進学を考える上で、問題となるのは次のどれですか。当てはまるものすべてを選んでください。

○医学部医学科6年生



○初期臨床研修医



【総評】

先に開かれた医学教育ワークショップ 大学院部会で実施したアンケート調査結果において、大学院の現在の問題点に、大学院博士課程の入学を希望する医師が少ないことが指摘された。考えられる理由として、①早期臨床研修医制度で得る現実的で直接的な医療へのインパクトの大きさ、②学会専門医、指導医資格取得の優先、③甲・乙種の医学博士号の違いが不明確であること、④具体性のない大学院カリキュラム、⑤入学および卒業年齢の高齢化、⑥経済的理由など挙げられたが、この調査結果はその指摘を裏付けるものとなっている。

総じて、大学院に対する関心が低い。というよりはむしろ、質問（7）の項目にもあるように、大学院について得る情報があまりに少ないために、大学院で修学するイメージがつかめないことが現状のようである。質問（6）における専門医や認定医、指導医の資格取得を優先する傾向も、それが一因となっているだろう。

現在、学内外への大学院の広報活動としては、本ニュースレターや大学院ホームページ、学生募集ポスターが中心である。これらを一層強化するとともに、ワークショップにおける提言の実現化を目指し、大学院の魅力向上に努めていきたい。

事務通信



◆修士・博士課程の皆様へ◆

大学院セミナーシリーズ特別講義 追加のお知らせ

下記の日程で、特別講義が1件追加されました。今年度最後の講義となりますので、特に履修登録者はこの機会にぜひ出席されて下さい。

なお、日程等の変更がありましたら、大学院HPにてお知らせいたします。

講演者	近藤 俊三 氏 (日本電子株式会社計測検査機器本部応用研究グループ・技術顧問)
演題	SEM でみたマウスの発生——受精卵から個体へ——
日時	平成20年12月18日 木曜日 16時～17時
場所	基礎1号館2階 会議室
担当講座	解剖学講座頭微解剖・生体形成部門



研究者養成リテラシー 開講のご案内

12月15日(月)～22日(月)にかけて、研究者養成リテラシーの授業が開講されます。博士課程共通科目の授業ではありますが、今回の授業では、修士や博士、あるいは履修登録の有無を問わず、どなたでも受講可能ですので、どうぞ奮ってご参加ください。

日 時	担当者	教室	講義内容
12月15日(月)	ワイコフ・ゲアリ氏	教育1号館 6F 1611教室	① How to write English paper ② 臨床医学論文の書き方 ③ 基礎医学論文の書き方
12月16日(火)			
12月17日(水)			
12月18日(木)			
12月19日(金)	橋本 隆教授		
12月22日(月)	野口正人教授		



◆修士課程第2学年学生の皆様へ◆

学位論文提出と年度末スケジュール



1. 学位論文申請書類と提出期限

[提出期限：平成21年1月23日(金)17時(時間厳守)までに庶務課に提出]

- ※①学位論文審査願：1通
- ②主論文：5通(印刷公表が望ましい)
- ③参考論文：各3通(作成している者のみ)
- ④論文目録：1通
- ⑤論文要旨：1通
- ⑥履歴書：1通
- ⑦単位修得証明書：1通(教務課にて準備する)
- ⑧写真(4×3cm)：1枚

申請書類については、大学院ホームページ (<http://gmed.kurume-u.ac.jp/>) の書式ダウンロードよりダウンロードして下さい。

担当 庶務課：阿久根 E-mail：akune_kanako@kurume-u.ac.jp 内線 3014

2. 口述試験〔期間：平成21年2月2日～2月19日〕
3. 最終審査〔平成21年2月25日〕
4. 学位記授与式〔平成21年3月26日11時～〕



◆博士課程第1学年学生の皆様へ◆

研究題目調査実施について

博士課程第1学年学生の皆様を対象に平成21年2月中旬ごろ研究題目調査を実施します。この調査は博士課程在学中の各自の研究テーマを調査するためのもので、久留米大学院医学研究科規程第9条に基づき第2学年前期の始まる前までに決定することと定義されております。

調査書類が届きましたら、必要事項記入の上、期日までに必ず医学部事務部教務課まで御返送下さい。



◆博士課程第4学年学生の皆様へ◆

学位論文提出の手続きはお済みですか？

博士課程第4学年学生の皆様で今年度中に学位論文提出手続きの修了を希望されておられる方は、既に配布したスケジュールに沿って提出をお願いします。なお、提出されない方については、平成21年2月中旬ごろを目途に医学部事務部教務課から「在学期間延長・単位修得満期退学希望調査」を実施しますので、その際にご回答をお願い致します。



前期入学試験結果発表!!

10月21日に行われた前期入学試験の結果は下記のとおりとなっております。
後期試験については次項のとおり実施いたします。

■ 修士課程 ■

志願者数 11名
受験者数 11名
合格者数 11名

■ 博士課程 ■

志願者数 7名
受験者数 7名
合格者数 7名

平成21年度大学院医学研究科後期入学試験のお知らせ

【試験日程】 修士・博士ともに同一

出願受付期間：平成21年1月26日（月）～平成21年2月6日（金）

※他に「出願資格審査申請受付期間」を設定していますのでご注意ください。

試験期日：平成21年2月17日（火）

合格発表：平成21年3月13日（金） 午前10時



【試験内容】

* 修士課程

英語・小論文・面接 <<基礎医学・社会医学・分子生命科学・臨床看護学群>>

英語・面接 <<バイオ統計学群>>

* 博士課程

英語・面接

平成21年度より、博士課程先端癌治療学 悪性腫瘍専門医養成ユニットに新たに
緩和医療専門医養成コースを開設することが決定されました！詳細につきましては、
募集要項、ホームページにてご確認ください。

また、科目等履修生も同時募集しております。

編集後記

大学院に関するさまざまな情報を発信してきたこのニュースレターも、次号でいよいよ第50号を迎えます。それを記念して、次号は大学院生の皆様の声の特集にと考えており、投稿者を大募集いたします。ご希望の方は、大学院生活にまつわるエピソード等500字程度にまとめて、3月6日までに教務課：中村までお寄せください。皆様のご投稿、お待ちしております。